

津幡の空から 2021・4月号

石川県学校生活協同組合

石川県学校生活協創立 72 年目 (信頼・安心・安全・適正・平等・共働・貢献)

「優・2021夏の全員利用運動」取り組み始まる！

＝人に優しく、優秀な商品をあなたに＝

石川県学校生活協同組合理事長 細野祐治

2021夏の全員利用運動のテーマは「優」です。

新型コロナウイルスの感染流行は、第4の波に入ろうとしています。感染の大元を断たなければ感染は止まりません。石川県内だけでも、年代別にPCR検査をすすめ、無症状の陽性者を探し出す事を地道にすべきだと思います。勿論ワクチン接種もしなければと思います。



さて、このような中での夏の全員利用運動です。今回のテーマを「優」としました。その思いを述べますと、一つは、「人に優しい商品」、二つは「優秀な商品」を組合員に届けようです。国産小麦 100%の金帯の最優そうめん、地元鳥越のそば粉と越前のそば粉を加賀丸いもでつないだそば、有機栽培豆のコーヒー、動物性原材料を使わない大豆食品、脱プラスチック包材のふりかけなどを選定致しました。

このねらいを一言で表したのが「優」です。私たちが選んだ全員利用運動商品が、これからも持続可能な優秀な商品として認知されるよう願っています。

一品は自分の為に、もう一品は愛する方にプレゼントにしてひろげてください。

取り組み開始は、4月初旬からです。多くのご購入をよろしくお祈りします。

速報！ 2020年度決算 経常剰余額は予算額を398万円上回りました

石川県学校生活協の3月決算は、経常剰余598万円の赤字となりました。予算差+398万円、前年差+695万円となりました。事業剰余は予算比で、通信共同購入111%（予算差+126万円）、フレッシュ共同購入112%（予算差+512万円）で、好調に推移しました。指定店一般は予算比117%（予算差+32万円）好結果でしたが、ガソリン事業78%（-71万円）、葬祭事業他66%（予算差-255万円）で厳しい数字となりました。学校生活協黒字化5年計画の2年目で、順調に赤字幅を減らすことができました。

石川県学校生活協同組合は、県内の教職員を対象とした職域生協です。学校という職場の中で教職員の生活を共同で守り向上させることを目的に結集した福利厚生組織であり、石川県の教職員の自主福祉活動や消費者運動の拠点になっています。

『ソクラテス』

北本 豊春

『アテナイの学堂』でプラトンの横に立って誰かに語りかけているのがソクラテスです。興味深そうに見つめているのはアレクサンドロス大王。アレクサンドロス大王の先生はアレクサンドロス大王。アレクサンドロス大王の先生がプラトン。プラトンの先生がソクラテスです。アレクサンドロス大王は大先生ソクラテスの議論を注意深く聞いています。ソクラテスたちが詭弁を使って議論を支配し正論や真実を捻じ曲げる不穏な時代でした。口の回るソフィストを利用したのは時の権力者です。殺伐とした相対主義に陥る世相を変えようと、ソクラテスはソフィストたちに言論で立ち向かいます。議論を重ねることと相手に「無知の知」を気付かせようとしたのです。論議の中で自分の誤謬・不徳・無知に気付かせることから「産婆術」と呼ばれています。ソクラテスの真摯な議論と真理を突き意志に感動して若者たちが教えを請うようになります。恥をかいたり立場を失ったりしたソフィストたちや政治家たちは「若者たちを扇動した」「神を冒瀆した」と言う歪んだ言いがかりをつけてソクラテスを訴え出しました。無罪を確信するソクラテスが低額の罰金刑を拒んだことから、次の評決では死刑と言う思いがけぬ評決が出来ます。慌てた弟子たちが逃亡の機会を設けましたが、ソクラテスは逃げようとはしませんでした。「悪法と言えども法なり」と言って、毒杯をおおったのです。ソクラテスの真摯な言動はプラトンの著書で語られています。

編集後記

2020年度から2021年度へ
この文章を書いているのは、3月29日です。2020年度もあと3日という日です。私が小学校に勤務していた当時の年度終わりの感覚は本当に一年が終わったという感覚で、ぐったりと疲れがでたものでした。それに比べ、学校生活協での年度終わりの感覚は、年度の最終結果は、新年度に入ってからでないと分からないので、対して緊張はしません。しかし、ここ数年は、その最終結果が出る時（4月上旬）には、大変頭を悩まして、人事を尽くして天命を待つ心境です。さて、2020年度の結果はどうなるでしょうか。次号には明確になっていますが・・・

人事に関しては、2020年度を最後に、2名の職員が退職します。二名とも長期間に勤務されていた方です。本当に永い間ありがとうございました。ご苦勞様でした。また、2021年度には、新しい職員を一人採用します。働きやすい、働き甲斐のある職場にしていきたいと思っています。期待しています。(道祐)